

皆様へ

飲酒運転による交通死亡事故に対する「危険運転致死罪」適用を要望する署名活動にご協力をお願いいたします。

生田直介

生田伊津子

### 皆既月食観察中の小学生兄弟軽トラックにはねられ死亡

皆さん、このようなニュースの見出しをご記憶のことと存じます。これは私たちの息子たちのことです。

私たちは、加西市北条町に夫婦と息子二人の4人家族で暮らしていました。

小学生の息子 敦弘（12才）と汰成（8才）の二人は、平成23年12月10日午後11時5分頃、加西市上野町の県道で、53歳男性の運転する軽トラックにはねられ死亡しました。

息子たちは皆既月食を観察しようと、母伊津子とともにいつも通っている空手教室を訪問して帰宅しようとしていたところでした。私が忘れ物を取りに戻った束の間の出来事でした。加害者は、2軒の飲食店で酒を飲み、飲酒運転の状態で軽トラックを運転し、二人の息子をはねてガードレールに正面衝突し、さらにその衝撃で軽トラックは反転し、反対側の電柱に激突しました。汰成は即死、敦弘は救急車で救急センターに搬送されましたが、間もなく死亡が確認されました。

加害者の呼気からは、0.4 mg/L という基準を大幅に上回るアルコールが検出されました。

目撃者の話では、加害者は泥酔し意識が朦朧とした状態であったといえます。事故は深夜であったとはいえ、現場は見通しの良い緩やかな左カーブであり、正常な運転では事故を起こすことはあり得ません。また、事故車の状態からかなりのスピードで衝突したことが伺えます。

この悲惨な事故に対して、私たち遺族は、厳罰である『危険運転致死罪』での起訴を求めています。また警察も『危険運転致死罪』で送検しましたが、神戸地検は状況証拠に乏しいとの理由で、罰則の軽い『自動車運転過失致死罪』のみで起訴しました。

私たちは、過失といううっかりミスで息子たちが殺されたとは思えません。

どうか私たちの事情、心情をふまえ、趣旨をご理解頂き、署名をお願い申し上げます。

